

町田通勤寮だより

NO 80

2020年 5月

社会福祉法人つるかわ学園 町田通勤寮

〒194-0045

東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042 (739) 0491

巻頭言

今年度もよろしくお願いいたします。

寮長 三階 広明

新年度が始まりましたが、年明けからの「新型コロナウイルス」感染拡大防止対策の対応のため、様々な場面で「自粛」がいわれ、反面で社会福祉事業は「社会生活を支える事業」として事業継続が求められる中で迎えた新年度です。

利用者さんの就労先でも様々な対応がとられ、「自宅待機・在宅勤務」等慣れない生活を続けざるを得ない方が出てきています。

特にこの4月から就労する予定だった「新卒」の方は苦勞していると思います。「出鼻をくじかれる」とは本当にこのことでしょうか。生活リズムの確立、就労意欲の醸成」にとって大事な時期に「会社に行けない。」ことは本人にとってもつらい経験だと思えますが、これを「貴重な体験」とす

ることで、取り返してもらえればいかなと思います。

保護者等の皆さんにも保護者会が連続で中止になってしまい、結果として、通勤寮・利用者の方の状況報告が十分にできないことになり大変申し訳なく思っています。ご不明な点があれば遠慮なくお申し出ください。電話では不十分な事項も出てくると思いますが、可能な範囲でお応えしてまいります。

皆さんも体調管理には十分お気を付けください。

「当たり前になっていたことへの制限」は「当たり前」な事が「どれだけ大事なことになるのか」を改めて考えさせてくれます。利用者の皆さんも感じてくれたらいいな。と思っています。

4月5日には新年度最初の行事として「オリエンテーション&バーベキュー」が行われました。(感染防止には十分な配慮をしております。)通勤寮で過ごすこと目的などを改めて利用者の方に伝え、それぞれの目標を確認してもらおうことと、新しい利用者の方を含めた懇親の場として位置付けた取り組みで例年この時期に開催しています。

職員一同、より質の高い支援に向けて努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

オリエンテーション

主任支援員 武智 里峰

4月5日(日)、オリエンテーション・BBQが実施しました。

コロナウイルスの関係で、緊急事態宣言発令前、東京都でも感染者数が増えて来た頃、実施するかしないか検討を重ねました。結果、年度スタートの最初の行事、通勤寮生活のスタート、この一年間で何をするか？？？大事な行事の一つなので、心配と不安もありましたが実施する事に決めました。席と席の間隔を空け、その日に限って肌寒い日だったので、窓を開け換気扇も付け、できる限り配慮した中で実施しました。

内容は毎年同じ内容です。

入寮前には、見学・相談の際、通勤寮とは？という話してから、自立に向けて何をやる所か？という話を必ず個人にしていますが入る前は学生が多く、殆どの方が忘れてるので、再度、このオリエンテーションでは、通勤寮とは？という所から話しを始めています。

この2年間で、何を学んで、自立していくのか？各項目に分けて、職員から説明をしました。

生活の流れ、生活の決まり、金銭支援、個別支援プログラム、行事・講座、食堂・食事について、地域生活(卒寮後の進路)について等々、約2時間半の長丁場でしたが、利用者さん達、真剣な表情で話し聞いていました。

一番の目的は、通勤寮を利用するにあたり、目標や自分の課題を明確にすること、何のために通勤寮の利用を決めたか？です。勿論、入寮前には目標を持って、自分の意思で入寮する事をお話していますが、先生や親御さんの目が離れてしまうと、目標や目的を忘れてしまう方も少なくはありません。そういった意味でも、このオリエンテーションは、どうしても外せない行事の一つとなるわけです。



そして、社会人として大人として、大きな責任を背負いながらも、社会や地域で暮らしていけるように、通勤寮で沢山の事を学び、色んな事を吸収して、この通勤寮を笑って卒寮して欲しいと願うばかりです。現在の所、コロナウイルス感染者は出ていません。これも、利用者が社会人としての責任ある行動が、今に至っているのだと思います。見えない物と戦い、恐怖感もありながらの生活ですが、精いっぱい、サポートして行きたいと思います。

BBQ

支援員 石田 順子

4月5日(日)、オリエンテーション後の夕方より、BBQを実施しました。

事前準備として3(金)～5(日)にかけて生鮮食品・炭・おにぎり(コロナの関係で、おにぎり権兵衛に、塩むすび・焼きたらこを1人2個計60個注文の買い物・受け取りを行い当日を迎えました。

けんちん汁・ポテトフライは調理職員が担当し、メインの肉類・焼きそばの生野菜は職員が準備し、利用者は生鮮食品に触らない、全員がマスク着用、食べる前に手洗いの徹底など、様相がだいぶ違いました。

火起こし・焼き場のみ利用者も関わられるようにしましたが、特定の利用者が焼き場を担当し、食に集中する姿が多かったのも印象に残りました。

例年に比べ食べる人が多く、焼き場に来る人が少なかつた理由としては、寒かつた事と、準備などの作業が少なかつた事もあつたと思いますが、交流会という意味では皆仲良くやつており、滞りなく行う事が出来ました。



調理実習

栄養士 調理員 遠藤 小百合

4月12日(日)に、今年度初めての調理実習を行いました。

身支度・手洗いははじめ、包丁使い・炊飯・煮る・焼く・ゆでるなどの調理の基本を、ゆつくりと学べる献立にして、4名の利用者さんと一緒に進めていきました。

今までの実習の流れは、一人一人に料理の担当を決め、一つの料理を一人が仕上げる形をとってきましたが、今回は、他の人がどう調理しているかをお互いに見る時間をつくってみました。すると、「肉の下味って何?」「強火と弱火、どっちがいいの?」「味噌は鍋に直接入れていいの?」など、利用者さんからたくさんの質問が飛び交いました。その一つ一つに答えながら実践していくことで、興味と理解がより一層深まったように感じられました。

全ての料理を食卓に並べ終えた時に、「難しいことしなくても、こんなにたくさん作れるんだね」と、嬉しい感想が聞かれました。また、普段はあまり好きではない食材を、自分が調理を手掛けたことで、少し食べてみようかなと口にしてくれた利用者さんの姿にも、心動かされるものがありました。

二ヶ月に一度の調理実習ですが、毎回テーマを決めて取り組んでいます。次回6月、「梅雨時の不快感に負けず、元気に乗り切るための料理」を学んでいく予定です。包丁をどう使っているかわからないという方も、調理が大好きという方も、是非どうぞ。

みなさまのご参加、お待ちしております。



完成品！！

着任職員挨拶

2020年4月1日よりつるかわ学園本部から、異動で通勤寮に配属となりました、川瀬朝日と申します。入職からこれまで、つるかわ学園本部で障がい重い方の支援に携わってまいりました。これまで副主任としてフロアの統括を行う中で、障がい特性や支援の方法論等、様々な事を学ばせて頂き、利用者さんの生活の質が向上するよう、実践に努めてきました。通勤寮と学園では、支援の質や利用者さん各々の「自立」の在り方も当然異なりませんが、これまでの経験を活かして、利用者さんの自己実現をサポートできるように、チームで連携しながら取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願い致します。

皆様初めまして、2020年3月16日より町田通勤寮支援員として入職致しました、佐々木宏典と申します。前職、前々職と食品スーパーで働いていたので、そこでの知識や経験が利用者の方々に少しでも役立てる事が出来ればと思っております。入職から暫く経ちましたが、どの様に支援していくのが良いのか先輩職員に尋ね、自問し、葛藤する毎日です。そんななか利用者の方々との何気ない会話ややり取りがとても楽しく、様々な考え方や感じ方を学んでおります。一人一人の個性を大切に、自立に向けて一歩一歩ステップアップしていけるような支援に努めてまいります。

今後の主な予定

6月4日(木) 性講座

6月18日(木) 保健講座

7月12日(日) 保護者会

◆町田通勤寮だよりのバックナンバーはつるかわ学園公式HPよりご覧になれます。